

## 県関係文献紹介

### ○ 芦屋の自然 I—市街地の自然—

#### 芦屋市立打出教育文化センター（X・1992）

表題のごとく自然観察ガイドブック①として芦屋市の市街地芦屋川沿い、宮川沿い、岩園町、城山、高座谷の四地域に分け季節ごとに各地域に生息する動植物をわかりやすく解説、カラー写真を多く使ってよく似た動植物の見分け方のポイントなどを載せ、野外活動や自由研究に役立つ内容となっている。

カラー写真が特に美しく大変気持ちよい冊子となっている。芦屋市教委同和教育課の古市景一氏の編集でわざわざ御恵送下さった古市氏に厚く御礼を申しあげる。

尚第2集「山地編」も引き続き出版される由。

#### ○ 因幡のむし No28 (Feb. 1993)

(鳥取大学昆虫同好会々誌)

永幡嘉之氏から御恵送頂いた。兵庫県的美方郡における記録が多く発表されているので県関係の文献として重要なものである。ただ拝見していて虫のことがわかっているのは永幡氏1人のように思われる。したがって氏の編集と云うことになるのだが氏が卒業したらどうなるのかと若干前途不安な会誌のようにも思われる。

#### ○ 伊丹の自然（伊丹市立博物館、平成4年3月31日発刊）

第1巻 伊丹市の自然環境。 184p.

第2巻 多彩な生物の世界。 188p.

他に別冊28p. と付図が6枚ついている。

なかなか落ち着いた装丁、美しいカラー図版が多数使用されている。見て楽しい出来である。勿論一般の人達を対象にしたものであるから概略的な説明になっている。多くの方々による協同執筆で昆虫関係では東 正雄・加藤信一郎・河上仁之・新家 勝氏等々が担当しておられる。「昭和40年代の昆陽池の昆虫」とかつての伊丹の昆虫相をながめている所など有益である。そして現在の昆虫を眺めるということになるのであるがいわゆる一般的な説明である点この種文献としては止むを得ないと思わ

れる。どちらにしても気持ちのよい文献である。上記のごとく奥付の発刊年月日になっているが新家勝氏の御好意で連絡頂き入手したのは1993年3月になってからである。お世話頂いた新家 勝氏に厚く御礼申しあげる（頒価 10,000円）。

## 県関係・学会誌・同好会誌・連絡誌

( X ・ 1992 - III ・ 1993 )

混虫ずかん（但馬むしの会連絡誌）

No34 ( X ・ 1992 ), No35 ( X II ・ 1992 ),

No36 ( I ・ 1993 ).

兵庫生物ニュース（兵庫県生物学会）

No10 ( X ・ 1992 ), No11 ( X I ・ 1992 ), No12 ( I ・ 1993 ).

自然とともに（兵庫県環境局環境管理課）

No19 ( X ・ 1992 ), 20 ( I ・ 1993 ).

N/K通信（Nature Association）

No11 ( X ・ 1992 ), No12 ( II ・ 1993 ).

のせ（大阪昆虫同好会連絡誌）

Vol. 21, No8-12 ( VIII - X II , 1992 ) Vol. 22, No1, 2 ( I , II , 1993 ).

Crude（大阪昆虫同好会々誌）

No37 ( Dec. 1992 ).

PARNASSIUS（淡路昆虫研究会々誌）

No38 (X II · 1992)

INSECT (淡路昆虫研究会連絡誌)

No36 (X II · 1992)

兵庫陸水生物 (兵庫陸水生物研究会)

No42 (X II · 1992)

姫昆サロンニュース

No88, 89 (I · 1993)

ハーモニ (人と自然の博物館ニュース)

No2 (II · 1993)

## 交 換 誌

すずむし (倉敷昆虫同好会々誌)

No127 (X I · 1992)

KURAKON (倉敷昆虫同好会連絡誌)

No28 (X · 1992). No29 (II · 1993).

## 編集後記

- 神戸は久方振りに2月2日は雪が降りつもる朝となりました(2月25日にも雪が舞いましたが—)。だが今年の冬は全般的には暖冬だったようです。
- 皆様方にはお変わりございませんか。
- 雪の中での生活は大変だと思います。冬になると零下30度の中で働け、働け(ラポート, ラポート)とおい立てられたカザック共和国での収容所生活が思い浮かびます。本年はこのカザック共和国(ウスチカメノゴルスク)への直行の航空路が春には開設される予定だからそれを前提として墓参に行かないかとのさそいを受けています。凍土に穴を掘り裸に毛布をくるんだまま埋葬した戦友の姿が浮かんできます。
- 今号は多くの投稿を頂きまして有難う御座いました。都合で一部次号に廻らせて頂きました。御投稿頂いた方には真に申し訳御座いません。お陰さまで充実した内容になったと思いますがいかがでしょうか?
- これにこりず気楽に御投稿下さい。
- 最後に私事にわたり恐縮ですが編集子が採集し集めました兵庫県産甲虫類標本を主体に世界のコガネムシ標本その他(半翅目標本もふくむ), 5,643種, 64,069点, 標本箱405(いずれも概数で実際にはそれ以上になっています。一応1992年前半採集したものまで), 1993年2月に3回にわけて県立 人と自然の博物館(三田市)で保管して頂くように納入させて頂きました。

(T)